

授業科目 嚥下・摂食障害学

【担当教員名】 大瀧 祥子	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>

摂食・嚥下障害について嚥下器官の解剖・生理から原因疾患と兆候・話し言葉の特徴と検査・評価・タイプ分類・治療・訓練までを学習する

<学習目標>

- 1 摂食器官の構造を理解する
- 2 嚥下器官の構造を理解する
- 3 食物認知機構を理解する
- 4 咀嚼運動を理解する
- 5 嚥下機構を理解する
- 6 摂食・嚥下障害を説明できる
- 7 摂食・嚥下機能を治療できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	摂食・嚥下に関連する器官の形態学 口腔の構造・神経筋・口腔感覚		
2	咀嚼の生理学 口腔内での食物認知・咀嚼運動とその制御機構、唾液分泌		
3	嚥下運動 食物の処理過程と嚥下反射・嚥下時の食塊の動き		
4	食物の物性と嚥下運動		
5	誤嚥 誤嚥とは・気道の防御機構・誤嚥の診断・誤嚥の防止		
6-7	摂食嚥下障害 摂食嚥下障害の分類・摂食嚥下障害の診断・摂食嚥下障害の治療		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	よくわかる摂食・嚥下のしくみ	山田好秋	医歯薬出版	2400
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 記述試験・レポート	【履修上の留意点】
---------------------	-----------

言語聴覚学科
専門